

バリアフリー委員会の講義支援：パソコン通訳

バリアフリー委員会では主に、講義を理解するのが困難な聴覚に障がいのある学生に対して、ノートテイクやパソコン通訳といった方法で、講義の内容が理解できるように講義支援を行っています。講義支援をテイク。講義支援を行う人をテイクと呼んでいます。更に、テイクを受ける学生を被テイクと呼んでいます。

パソコン通訳とは名前の通りパソコンを使って講義内容を伝える講義支援の方法です。ノートテイクの場合であればノートに講義の内容を手で書いて伝えます。

手で書いて講義の内容を伝えるため、テイクの書く速さがどんなに速くても先生の話そのまま書くことは不可能です。しかし、パソコンを使えば、テイクの入力速度に依存するものの手書きよりずっと速く入力することができ、入力速度があればあるほど、先生の話そのまま言ったとおりに伝えることができます。最近ではノートテイクよりもパソコン通訳のほうがテイクに対する負担が軽減できることから、パソコン通訳者の養成に力を入れています。パソコン通訳を行うときは、基本的に被テイクが中央に座り、その両側にテイクが座り講義内容を伝えるという形で行っています。



今まで講義支援を行ってきた工藤努さん(社情4年)から卒業前にコメントを頂きました。

卒業するに当たって (工藤 努)

平成13年4月に本学へ入学して、あっというまに卒業を迎える時期が近づいてきました。この4年間、学生生活を通じて一生忘れることのできない貴重な学生生活とは、聴覚障害の僕のために講義支援をして下さったバリアフリー委員会の皆さんと出会ったことです。そのおかげで4年で無事に卒業することができ、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。また交流会や勉強会などを通して皆さんと交流を深めたり、楽しく過ごしたり、どれも僕にとって一生忘れることのできない思い出です。本当に皆さんと出会えて良かったです。これからは僕は飛び立ちますが、皆さんも元気で力いっぱい講義支援をして下さい。そしてメンバー同士仲良く、バリアフリー委員会に入って良かったと言えるような団体を作り上げて下さい。最後になりましたが、皆さんの笑顔をいつまでも大事にして頑張ってください。いつか皆さんとまた会えるのを楽しみにしています。ありがとう☆

スポーツ交流会

12月5日に本学第一体育館でスポーツ交流会が行われました。本学をはじめ、酪農学園大学、浅井学園大学、北星学園大学、札幌大学、北海道大学など色々なところから多くの方が参加されました。バリアフリー委員会で主催した今回のスポーツ交流会は3度目となり「障がい者スポーツを通じての大学間交流」を目的として開催されました。午前中にフライングディスク、午後からはゴロ野球、ドッジボールを行いました。フライングディスクとゴロ野球はそれぞれ講師をお招きして指導を受けながら行われました。

フライングディスク



フライングディスクとはディスク一枚さえあれば、いつでも、どこでも、だれでも、安全に！楽しめるスポーツとして多くの人に親しまれている競技です。

午前中に行われたフライングディスクでは、お招きした講師の方に様々な遊び方を教えていただき、実際にディスクを使って行われました。最後はディスクを使ったバスケットボールに似たゲームを行いました。

ゴロ野球

お昼休みを挟んで午後からはゴロ野球が行われました。ルールは普通の野球とほぼ変わりありませんがハンドがあり、普通の野球とは若干の違いがあるスポーツです。試合形式で行われ、実際に車椅子に乗ったプレーをするなど楽しめる内容でした。フライングディスク同様に、ゴロ野球もお招きした講師の指導を受けながら行われました。



ドッジボール

フライングディスクとゴロ野球終了後、4チームに分かれての総当たり戦でドッジボールを行いました。試合は初め予選を行い、最後に3チームが残ったの本戦が行われました。予選では全勝で本戦に残ったチームが本戦で敗退し優勝できなかったという結果にもなりましたが、終了時刻6時までの約2時間の間、最後まで楽しめるものとなりました。
